

平成23年度 一般会計補正予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

観光政策課（内線：7637）

2目 計画調査費

（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
山陰海岸世界ジオパークネットワーク推進事業	28,025	1,900	29,925				1,900	
トータルコスト	53,587	1,900	55,487	（補正に係る主な業務内容）				
従事する職員数	3.2人	0.0人	3.2人	補助金、負担金の交付、実行委員会への参画				
工程表の政策目標(指標)	他府県と連携してエリアとしての観光魅力を向上させ、国内外からの観光客誘致を促進する。							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

山陰海岸ジオパークの広範なエリアを活用し、そのエリア全域を踏破する110kmウォークを3府県連携の象徴イベントとして実施する。

また、県民が鳥取砂丘に関する知識（保全と活用）を深めるきっかけづくりや、世界加盟を果たした山陰海岸ジオパークを含め、県外への認知度向上を目的に昨年度に引き続き鳥取砂丘検定を実施する。

2 主な事業内容

（単位：千円）

補助金等名	事業概要	補正額
山陰海岸ジオウォーク補助金（京丹後市～鳥取市）	山陰海岸ジオパークエリア110km全域等を踏破するウォーキング大会を開催する。 （事業概要等） ・実施主体：山陰海岸ジオパーク 110kmウォーク実行委員会（仮称） ・補助率：定額 ・実施時期：秋 ・コース：京都府経ヶ岬～白兔海岸 ・開催期間：1週間～10日間 ・その他：ゴール地点を白兔海岸とし、最終日に新温泉町～白兔海岸等だけを歩くコースも設定して多くの参加者を募りイベントを盛り上げる。	1,500
鳥取砂丘検定実行委員会負担金	日本を代表する観光資源であり、国内外に誇れる県民の貴重な財産である鳥取砂丘をテーマにした検定を実施する。 （事業概要等） ・実施主体：鳥取砂丘検定実行委員会 ・負担率：定額（鳥取市と同額） ・実施時期：平成23年秋頃 ・見直し方針（検定部門）： ①一般コース（仮称） 既実施のものと同レベルのものを継続実施 ②基礎コース（仮称） 小中学生向けの基礎的な事項を出題 ・検定会場：県内、首都圏等	400

3 これまでの取組状況、改善点

平成22年10月、山陰海岸ジオパークは世界ジオパークネットワークへの加盟が認定された。県内での認知度については、市町と協力して実施している研修会等により東部地区を中心に高まってきているが、エリア外の地域への更なる認知度向上が必要であり、広域イベントの開催等により情報発信に努める。